

今月の「輝き！」さん
No. 102



加賀建設株式会社 おうみとしゆき 近江敏之さん
 所属：土木部
 経験年数：3年4カ月
 年齢：23歳

金沢市金石西の会社事務所に「今月の輝きさん」を訪ねました。

—あなたの会社について教えてください。
 当社は、本年6月に創業80周年を迎えた総合建設会社で、土木事業や建設事業に加え、地域特性を活かした新しい価値を創出するプロジェクトの企画や提案、運営を行っています。私は、土木部に所属し現場監督として頑張っています。

—建設業を選んだ理由、入社した動機等について教えてください。
 自宅近くの工業高校の土木科に入学し、大学進学を目指したのですが、第一志望の県内国立大学には進めず、高校で学んだ土木の知識を活かせる建設業への就職を決めました。加賀建設は自宅から近く、福利厚生や資格取得支援などのサポートが充実していたことから、是非にと思い入社しました。

—これまでで思い出に残る現場はありますか？
 私が入社した年に体験した「海上工事」が思い出に残っています。作業現場は陸上とはばかり思っていた私にとって初めての体験であり、建設業のイメージがガラリと変わった現場でした。自分の背丈より遥かに大きなコンクリートブロックが設置され、大型クレーンを搭載したクレーン付き台船や大量の石材を積んだガット船での作業など、とにかく初めて見るものばかりでワクワクしました。

同時に「現場には多種多様な人達が集まっていて、それぞれコミュニケーションをとりながら一つの構造物を完成させているのだな。」と実感した現場でした。

—仕事での苦労やそのために努力していることはありますか？
 「海上工事」は、天候や気象条件の影響が大きく、高い波やうねり、雨等による海中の濁りなど日々変化します。そのため、比較的海が穏やかな早朝から作業を始め、海象の良い日を逃さないため土曜日や日曜日に作業することがあります。入社して1~2年は、土日が休みの友人に会えない生活がストレスでした。しかし、「ICT施工」の導入により作業工程の短縮等が可能となり、土日の作業軽減が図られたことで、プライベートのストレスも解消されました。
 ICT施工は効果的な技術ですが、関連機器の操作技術が必要ですので、自分が使えるものには率先して取り組み、知識や操作方法の習熟に努めています。
 今、金沢市内の河川改修工事を担当していますが、今年の夏は暑さが厳しいので、ドリンクや資機材の活用はもちろん、作業員の方に積極的に声を掛けるようにし、その会話の中で健康状態等に気付けるよう心掛けています。

—休日の過ごし方、趣味等について教えてください。
 学生時代の友人や職場の先輩達と、外食やお酒を飲みに行ったりしており、一人の時には近場をドライブしています。車が好きな方ならご存じだと思いますが「トヨタ86」に乗っており、この車が仕事のモチベーションの一つです。

—将来の夢、目標は？
 当面の目標は、二級土木施工管理技士の資格取得で、10月に行われる試験合格を目指して勉強中です。働く中でしっかりと時間を確保して勉強し、様々な資格を取得して、建設業で頑張っていきたいと思っています。

—最後に建設業を目指す後輩たちに一言。
 ICT技術は今後ますます進化し、建設業界において様々な場面で活躍すると確信しています。これから建設業への入職を目指す方々には、最新技術に触れる楽しさ、進化する建設業を、ぜひ自身で体験してほしいと思います。
 建設業は大変やりがいのある仕事です。入職して同じ現場で仕事ができたら嬉しいです！



けんせつ一番星☆

[-Sunset Express-MOVE]
 毎月第4火曜日 18:00~18:05



エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。是非お聞きください。